

排泄ケアチーム

脳血管疾患の後遺症などにより排泄機能や排泄行為に関わる身体機能に問題を抱えた患者様が多く入院されています。そのような患者様に対して、多職種が介入することで、正常な排泄コントロールを目指し、支援していく事を目的としています。

超音波残尿測定器の活用



排泄チェックシート、超音波残尿測定器などを活用し、診断や治療につながるアセスメントを実施し、看護計画、リハプランに反映させて、適切なケアを実践しています。

ADL シミュレーションシステムを利用した訓練



病院のトイレ場面の訓練だけでなく、ADL シミュレーションシステムを活用し、自宅環境に即したリハビリテーション訓練を施行することで、能力の向上を図ったり、具体的な改修案を提案したりして、安心して自宅に戻れることを支援しています。

また、残念ながら排泄機能の問題が後遺症として残存したとしても、ご家族様が適切な排泄ケアを行っていただけるよう家族指導にも力を入れています。

他職種で行なうチーム会議や勉強会の開催



当チームは、泌尿器科医をはじめ、多職種の視点で患者様の排泄における問題を追及し、常に最新のリハビリテーション訓練・ケア・治療を行っていただけるように、毎月、会議や勉強会を開催し、専門的知識の獲得や技術の向上・ケアの実践に努めています。